



# 志風

『志風』を通して、皆さんに、学校や保護者、地域の願いを届けたいと思います。  
(志貴野中ホームページにも掲載)

7月中旬に実施した学校評価(中間評価)へのご協力ありがとうございました。全校生徒及び保護者の皆様を対象とした中間評価の結果についてご報告します。

本校では昨年度より、学校教育目標「豊かな人間性をもつ生徒の育成」の具現化に向け、下記の行動計画を掲げ教育活動を推進してきました。しかし昨年度最終評価においては生徒の評価は目標に達したものの、生徒と教職員の評価結果に大きな差が見られました。そこで今年度も引き続き、行動目標「時場礼責」を意識した目標を設定し、生徒が高い目標をもち、活動することができるようPDC Aサイクルを生かした取組を工夫していきたいと考えました。

## ◇ 平成30年度 重点目標を達成するための行動計画(アクションプラン)

**【重点目標】「思いやりと感謝の心を大切にし、互いに協力し合い、大きな夢の実現を目指す生徒の育成」**

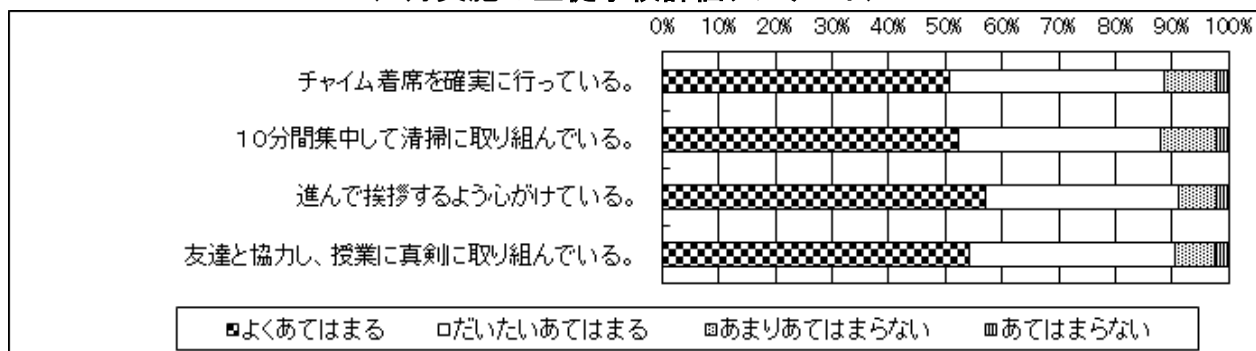
◇具体的な生徒達成重点指標

【達成目標】

<b>時</b> …チャイム着席を確実にしている。	90%以上
<b>場</b> …10分間集中して清掃に取り組んでいる。	90%以上
<b>礼</b> …進んで挨拶を行っている。	90%以上
<b>責</b> …学び合い高め合いながら学習に取り組んでいる。	90%以上

## ◇ 重点指標について

(7月実施の生徒学校評価アンケート)



(7月実施の教職員学校評価アンケート)

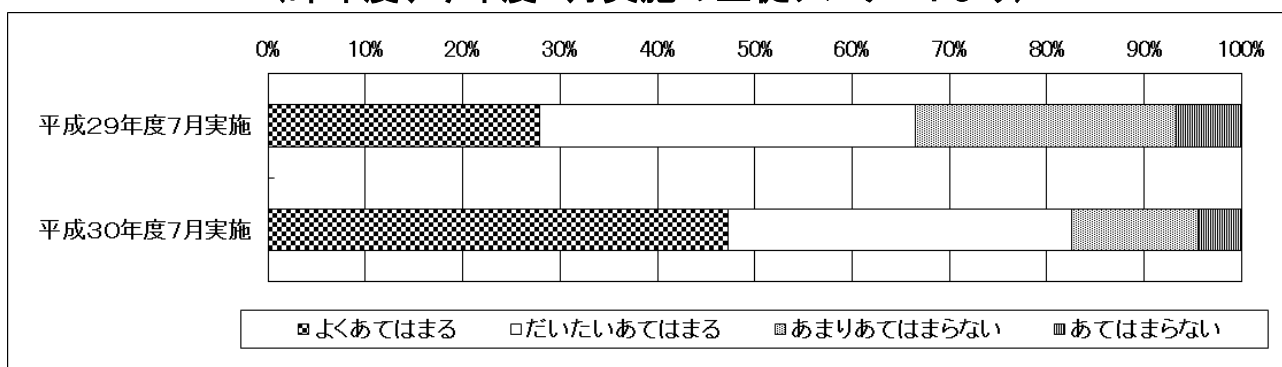


重点指標についての生徒評価は、「進んで挨拶するよう心がけている(礼)」「友達と協力し、授業に真剣に取り組んでいる(責)」については肯定的評価の数値が90%を越え、達成目標を上回っています。しかし「チャイム着席を確実にしている(時)」「10分間集中して清掃に取り組んでいる(場)」については肯定的評価の数値が90%を越えることができませんでした。また、同項目についての教職員の評価においてはどの項目も目標値を下回る結果となりました。

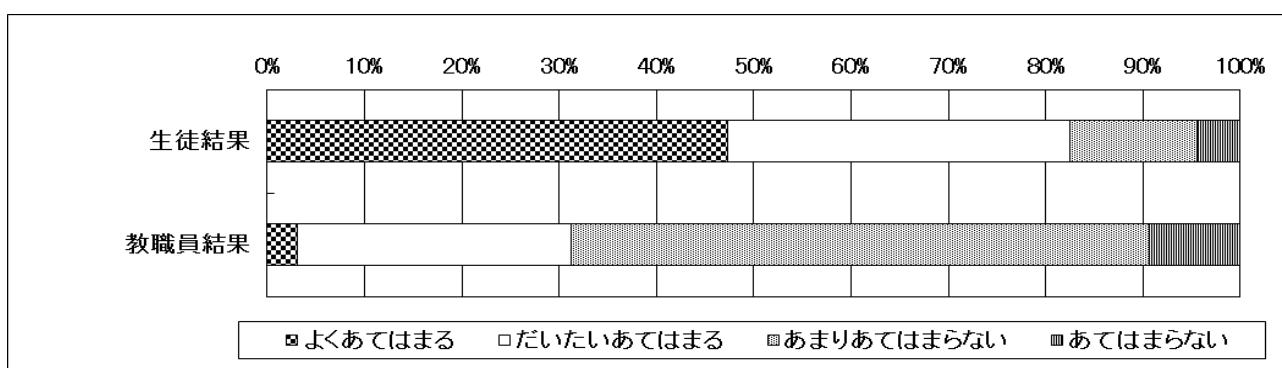
この結果については、生徒と教職員との「時場礼責」の受け止め方の違いによるものと思われます。中学生としてどうあれば「時場礼責」を身に付けたことになるのか、学級指導や道徳を通して教職員が語りかける場面、特別活動や生徒会活動を通して生徒自身が考え、実践していこうとする場面、家庭や地域の方々のお力をお借りしながら社会の一員としての自覚を育てていく場面をそれぞれつくっていかねばならないと考えます。10月には2年生が「社会に学ぶ『14歳の挑戦』」に取り組む予定です。社会で生きていくために、社会の中で「時場礼責」が大切であることを実際に肌で感じ取り、自分の生活を振り返る機会となるよう指導の充実を図っていきたいと思います。

## ◇ 家庭学習の時間について

(昨年度、今年度7月実施の生徒アンケートより)



(7月実施の生徒及び教職員学校評価アンケートより)



「家庭学習を毎日決められた時間している」については昨年度と比べ肯定的な回答をしている生徒の割合が増えています。また、生徒アンケートの自由記述にも昨年度より頑張っていることとして「勉強」「家庭学習」などと回答した生徒の延べ人数は1年生は47%、2年生は63%、3年生70%を占めています。同様に保護者アンケートの自由記述においても昨年度より頑張っていることとして「学習」が最も多く回答されていました。しかし、教職員アンケートによれば、家庭学習の定着度は十分でないにとらえられています。学習にかけた時間だけでなく、学習した内容や進め方についてもきめ細かな指導を行い、生徒自身が実践していくことで学力の向上に努めていきたいと考えています。